

競技注意事項

1. 競技規則について

本競技会は、2026年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項によって実施する。

2. 練習場所および選手控え場所について

- (1) ウォーミングアップは、トラック全周レーンを使う種目(400m等)が行われていない時間に限り、バックストレート側のみに
おいて使用できる。
- (2) ウォーミングアップ等の行動が、競技ならびに審判の妨げにならないように注意する。
- (3) 投てき競技の練習は、危険防止のため空き地での練習は禁止とする。
- (4) 選手控え場所はスタンドおよび芝生席のみとし、競技場内は禁止とする。

3. 変更および招集について

- (1) 選手変更および当日エントリーは、一切認めない。
- (2) 招集完了時刻は、その競技開始時刻を基準とし、トラック競技は20分前、フィールド競技は30分前で完了する。
- (3) リレー出場チームは、リレーオーダー用紙に走順および監督署名をし、当該競技の招集完了時刻60分前までに招集所(競技者係)
に提出する。また、リレーオーダー用紙提出後は、必ず招集完了時刻までに招集手続きを完了する。
- (4) 同一人が2種目以上同時に兼ねて出場し、競技時刻が重複する場合はあらかじめ競技者係に申し出て、許可を得るとともに、
重複している種目の競技役員(主任)に申し出て、指示により行動する。

4. アスリートビブス(登録番号)ならびに腰ナンバー標識について

- (1) アスリートビブスは各自で作成のうえ、競技中は胸部および背部にはっきり見えるように付けなければならない。跳躍種目の
競技者は、胸部または背部のいずれかに付けるだけでよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を所定の位置(右腰後方あたり)に取り付け、競技終了後にフィニッシュ
ライン付近で競技役員に必ず返却すること。4×400mRの第2・第3走者も同様に取り付ける。

5. 競技について

- (1) スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告(イエローカード)を与えられることがある。本競技会では同一レース
のイエローカード2枚で当該レースのみ失格(レッドカード)とする。ただし、本競技会では累積しない。
- (2) セパレートレーンのトラック競技においては、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーン
(曲走路)を走り、他の競技者に接触しないように注意する。
- (3) 走高跳ならびに棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。ただし、気象条件等によっては審判長判断で変更する場合がある。
走高跳 [男子] 1m60(練習) 1m65 - 1m70 - 1m75 - 1m80 - 1m85 - 以降3cm単位で上げる。
[女子] 1m25(練習) 1m30 - 1m35 - 1m40 - 1m45 - 1m50 - 以降3cm単位で上げる。
棒高跳 [男子] 3m20(練習) 3m40 - 3m60 - 3m80 - 4m00 - 以降10cm単位で上げる。
[女子] 3m00(練習) 3m20 - 3m40 - 3m60 - 3m80 - 以降10cm単位で上げる。
- (4) 三段跳の踏切板は、砂場から男子11m、女子9m地点に設置する。
- (5) フィールド種目のオープン参加で走高跳および棒高跳以外の試技は3回とする。
- (6) 競技者は勝手に競技場所を離れることはできない(競技規則TR25.19)。
- (7) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては競技会から除外される。警告はイエローカード、除外はレッド
カードを示すことによって競技者に知らされる。

6. 競技用具等について

- (1) 競技に使用する用器具は、原則として主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用のポールについては
個人所有の物を使用できるが、競技開始前に跳躍場において競技役員が検査を実施する。
- (2) スパイクの数は11本以内、長さは9mm以内とする。なお、走高跳およびやり投はスパイクの長さは12mm以内とする。また、スパ
イクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない(競技規則TR5.2)。
- (3) 靴底の最大の厚さは、競歩・サークル系種目を除き20mm以内、競歩種目は40mm以内でなければならない(競技規則TR5.2)。
なお、サークルから行う投擲種目(砲丸投、円盤投、ハンマー投)は、靴に関する規定は対象外とする。
- (4) 競技前、競技中に競技役員が疑義を抱いた競技用靴については、競技終了後に審判長の権限で検査を行うことがある。

7. 抗議・上訴について

発表された結果に対する抗議は、競技規則に定められた時間内に、競技者本人または代理人から総務員を通じて審判長に対し
て口頭で行う。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金を添え、総務員を通じて文書で申し出る。

8. 得点および表彰について

- (1) 得点是对抗種目別得点制とし、1位8点、2位7点……7位2点、8位1点とする。また、新記録ポイントとして岡山県新
10点、岡山県実業団新7点、大会新5点を加算する。なお、タイ記録については、各新記録ポイントの1/2点を加算する。
- (2) 各決勝種目終了後、第1位は賞状とメダル、第2位・第3位は賞状を授与するので、速やかに表彰係まで取りにくる。
- (3) 団体対抗表彰は、総合の部、男子の部および女子の部とする。

9. その他

- (1) 天候・出場人数およびその他の状況により競技開始時刻・組編成等の変更をする場合もある。その場合は、アナウンス等に
て連絡をする。
- (2) 各種目の結果発表は、アナウンスおよびウェブサイトにて行う。
- (3) プログラム記載事項に訂正がある場合は、出場種目の招集開始時刻前までに競技者本人もしくは代理人が大会本部に申し出て、
訂正手続きを書面にて行う。
- (4) 本競技会に関わるすべての人に対し、競技中に発生した傷害・疾病については、傷害保険の加入範囲内および現場での応急
処置以外の責任は一切負わない。なお、応急処置後の治療は個人の負担とし、主催者は責任を一切負わない。また、競技会に
関わるすべての人の感染に対するいかなる責任を主催者は一切負わない。
- (5) 貴重品類等は各自で管理し、万一の紛失・盗難にあっても主催者は責任を一切負わない。